

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年4月14日まで（2013年4月22日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	リスク・パリティ α オープン	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY） 受益証券およびマネー・プールマザーファンド受益証券
	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）	世界各国の株式、債券、コモディティおよび短期金利の指数等に係るスワップ取引または先物取引に係る権利
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。 アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。 原則として、対円で為替ヘッジを行います。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 	
分配方針	毎年4月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

リスク・パリティ α オープン



第3期（決算日：2016年4月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「リスク・パリティ α オープン」は、去る4月14日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

国際投信投資顧問株式会社は2015年7月1日に三菱UFJ投信株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

リスク・パリティ α オープンのご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	11

投資対象ファンドのご報告

◇アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）	13
◇マネー・プール マザーファンド	18

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物率	投資信託証券比率	純資産総額
	(分配落)	税金込み	騰落率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2013年4月22日	10,000	－	－	－	－	－	2,952
1期(2014年4月14日)	9,550	0	△4.5	0.1	－	98.9	3,507
2期(2015年4月14日)	10,139	0	6.2	0.0	－	99.0	1,592
3期(2016年4月14日)	8,824	0	△13.0	0.0	－	99.0	1,146

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物率	投資信託証券比率
	騰落	騰落率			
(期首)	円	%	%	%	%
2015年4月14日	10,139	－	0.0	－	99.0
4月末	10,171	0.3	0.0	－	99.0
5月末	10,017	△1.2	0.0	－	99.0
6月末	9,738	△4.0	0.0	－	99.0
7月末	9,583	△5.5	0.0	－	99.0
8月末	9,326	△8.0	0.0	－	99.0
9月末	9,087	△10.4	0.0	－	99.0
10月末	9,366	△7.6	0.0	－	99.0
11月末	9,092	△10.3	0.0	－	99.0
12月末	8,789	△13.3	0.0	－	99.0
2016年1月末	8,429	△16.9	0.0	－	99.0
2月末	8,667	△14.5	0.0	－	99.0
3月末	8,791	△13.3	0.0	－	99.0
(期末)					
2016年4月14日	8,824	△13.0	0.0	－	99.0

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

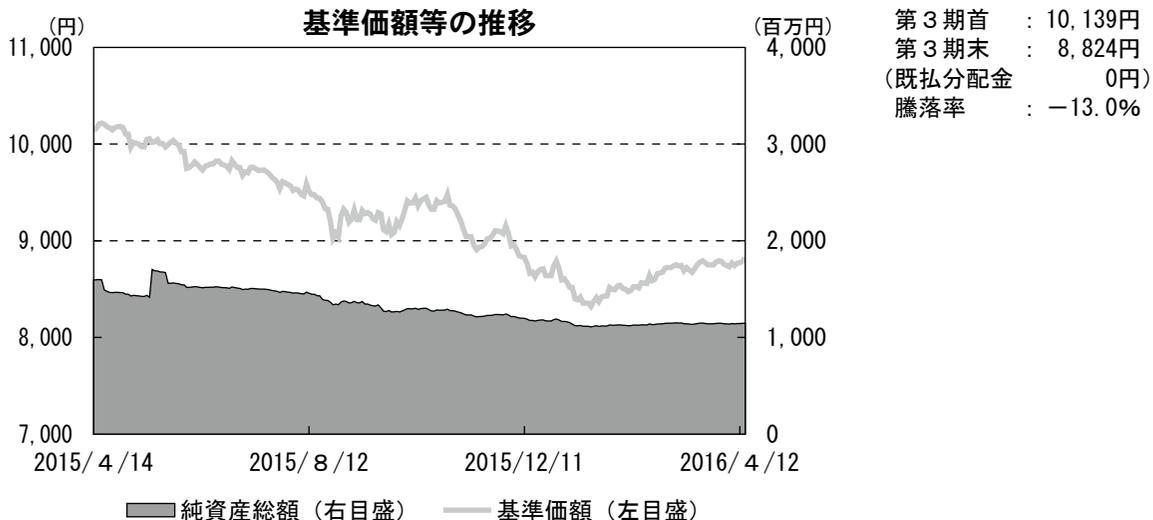
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第3期：2015/4/15～2016/4/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ13.0%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

コモディティ市況や株式市況の下落などが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第3期：2015/4/15~2016/4/14)

◎株式市況

- ・期を通してみると、世界の株式市況は下落しました。
- ・世界株式は、2015年8月下旬から9月末にかけて、中国の景気減速懸念から中国株式が急落したことや、ドイツのフォルクスワーゲン社による排ガス規制検査での不正が発覚したことなどを受け、下落しました。10月から12月末にかけては、中国の利下げ実施や欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和期待などから反発したものの、米国の利上げが視野に入っていたため戻りは限定的となりました。2016年は、2月中旬にかけては世界的な景気減速懸念から大きく下落したものの、期末にかけては、原油価格が反発したことや今後の米国の利上げがやや緩慢になるとの見方などから、年初並みの水準まで回復しました。

◎債券市況

- ・期を通してみると、米国やドイツの国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。
- ・米国は、期初から2015年7月にかけて、景気回復や利上げ観測などにより、利回りは上昇しました。その後、2015年末にかけては、新興国の景気減速懸念と利上げ観測などから一進一退の動きとなりました。2016年以降は、世界的な景気減速の影響から米国の利上げペースが緩慢になるとの観測などを受け、利回りは低下しました。
- ・ドイツは、期初から2015年4月末にかけて、ECBによる量的金融緩和や低インフレを背景に、利回りは一時0.1%を下回る水準から始まりました。その後、6月にかけては、ECBがインフレ率上昇見通しを示したことなどから、1.0%近くまで急上昇しました。7月から期末にかけては、欧州でも景気減速懸念が台頭したことやECBの追加金融緩和が市場で予想されたことなどから、低下しました。

◎短期金利（約2年後に期限が満了する金利先物）

- ・期を通してみると、米ドルやユーロ、英ポンドの短期金利はいずれも低下しました。
- ・米国の利上げペースが緩慢になるとの見方が広がった2016年以降、米ドルの短期金利は低下しました。
- ・ECBによる追加金融緩和が実施されたユーロの短期金利は低下しました。
- ・英国の利上げ観測が後退した英ポンドの短期金利は低下しました。

◎コモディティ市況

- ・期を通してみると、コモディティ市況は下落しました。
- ・中国を中心とした新興国経済の減速によるコモディティの需要減少が懸念されたことなどを背景に、2015年7月から2015年末にかけて下落基調となりました。特に、ヒーティングオイルや原油、天然ガスなどのエネルギー関連が大きく下落したほか、非鉄金属、豊作だった穀物など、ほとんどの銘柄で下落となりました。

◎国内短期金融市場

＜無担保コール翌日物金利の推移＞

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用開始を受けて、足元はマイナス0.01%程度で推移しました。

＜国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移＞

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締まりなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはおおむね0%を下回る水準で推移しました。2016年1月の日銀の金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると一時的にマイナス0.2%程度まで急低下し、足元はマイナス0.1%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜リスク・パリティ α オープン＞

- ・円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

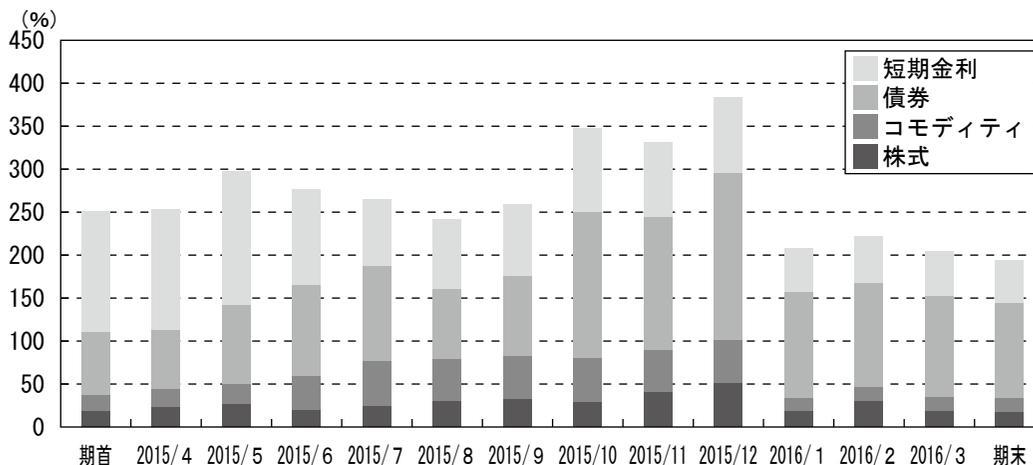
＜アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）＞

- ・主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用するとともに、為替変動の影響を受ける部分について対円で為替ヘッジを行いました。
- ・ポートフォリオは、毎月初めにポートフォリオ全体のリスク水準を調整し、①基本となる「リスク・パリティ戦略」による株式、債券、コモディティ、短期金利の4資産への分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを目的としたレバレッジ調整を活用して構築しました。
- ・2016年1月は月間損失率が「フロア」に近付いたことや、株式や債券などの変動率が高まったことなどを受け、1月末の4資産合計の比率は208.3%としました。また、複数資産において下落リスクが高まったことなどを受け、ほとんどの期間において、4資産全ての比率を通常よりも低水準としました。
- ・スワップ取引・先物取引に必要な証拠金以外の資金の一部を、残存期間の短いドイツ国債（先進国国債）に投資を行いました。
- ・当期は、コモディティ市況や株式市況の下落などがマイナスに作用し、ポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。

（注）当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプツ・ゲーエムベーハーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

(ご参考)

4 資産配分比率の推移



※比率はアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合で、債券（現物資産）、現金等、為替取引は含みません。

※4資産配分比率は現地月末の値、期首は現地2015年4月13日の値、期末は現地2016年4月13日の値です。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、日銀のマイナス金利導入による金利低下を受けて保有債券の評価額が上昇したことなどにより、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2015年4月15日～2016年4月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	449

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<リスク・パリティαオープン>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

<アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行います。
- ・ポートフォリオは、毎月初めにポートフォリオ全体のリスク水準を調整し、①基本となる「リスク・パリティ戦略」による株式、債券、コモディティ、短期金利の4資産への分散投資、②アルファ・モデルによる更なる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを目的としたレバレッジ調整を活用して構築する方針です。

（注）当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

<マネー・プール マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2015年4月15日～2016年4月14日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	118円 (45) (70) (3)	1.274% (0.486) (0.756) (0.032)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	1 (1)	0.011 (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	119	1.285	
期中の平均基準価額は、9,254円です。			

- (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月15日～2016年4月14日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)	千口 287,077	千円 275,585	千口 582,191	千円 539,160

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月15日～2016年4月14日)

利害関係人との取引状況

<リスク・パリティ α オープン>

該当事項はございません。

<マネー・プール マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	1,500	99	6.6	50	—	—

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年4月14日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首 (前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド (JPY)	千口 1,624,945	千口 1,329,831	千円 1,135,543	% 99.0
合 計	1,624,945	1,329,831	1,135,543	99.0

(注) 比率はリスク・パリティ α オープンの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘 柄	期首 (前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価 額	
マネー・プール マザーファンド	千口 0.995	千口 0.995	千円 1	

○投資信託財産の構成

(2016年4月14日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
投資信託受益証券	千円 1,135,543		% 98.1
マネー・プール マザーファンド	1		0.0
コール・ローン等、その他	22,508		1.9
投資信託財産総額	1,158,052		100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,158,052,068
コール・ローン等	18,102,353
投資信託受益証券(評価額)	1,135,543,280
マネー・プール マザーファンド(評価額)	1,000
未収入金	4,405,435
(B) 負債	11,085,334
未払解約金	3,515,600
未払信託報酬	7,506,181
その他未払費用	63,553
(C) 純資産総額(A - B)	1,146,966,734
元本	1,299,755,638
次期繰越損益金	△ 152,788,904
(D) 受益権総口数	1,299,755,638口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,824円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,570,895,278円
 期中追加設定元本額 295,261,361円
 期中一部解約元本額 566,401,001円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8824円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は152,788,904円です。

③分配金の計算過程

項 目	2015年4月15日～ 2016年4月14日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	10,151,457円
分配準備積立金額	48,308,382円
当ファンドの分配対象収益額	58,459,839円
1万口当たり収益分配対象額	449円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①委託者である「国際投信投資顧問株式会社」は「三菱UFJ投信株式会社」との合併により解散し、存続会社である「三菱UFJ投信株式会社」は2015年7月1日付で「三菱UFJ国際投信株式会社」と商号変更するための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
 ②委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行うための、所要の約款変更を2015年7月1日に行いました。
 ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○損益の状況 (2015年4月15日～2016年4月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	10,849
受取利息	10,849
(B) 有価証券売買損益	△152,135,649
売買益	20,913,756
売買損	△173,049,405
(C) 信託報酬等	△16,882,390
(D) 当期損益金(A + B + C)	△169,007,190
(E) 前期繰越損益金	25,544,464
(F) 追加信託差損益金	△9,326,178
(配当等相当額)	(10,151,457)
(売買損益相当額)	(△19,477,635)
(G) 計(D + E + F)	△152,788,904
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	△152,788,904
追加信託差損益金	△9,326,178
(配当等相当額)	(10,151,457)
(売買損益相当額)	(△19,477,635)
分配準備積立金	48,308,382
繰越損益金	△191,771,108

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年4月14日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体（301,018千円）の内容です。

国内公社債

(A)国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 250,000	千円 251,234	% 83.0	% —	% —	% —	% 83.0
合 計	250,000	251,234	83.0	—	—	—	83.0

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B)国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第98回利付国債（5年）	0.3	100,000	100,069		2016/6/20
第282回利付国債（10年）	1.7	150,000	151,165		2016/9/20
合 計		250,000	251,234		

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、リスク・パリティ α オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

投資の基本方針	<p>主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。また、為替変動の影響を受ける部分については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スワップ取引および先物取引は、実質的に投資対象となる各資産について、原則としてロング・ポジション（買い持ち）を構築します。 先物取引については、組入比率の調整を目的として、売建てを行う場合があります。 ・スワップ取引および先物取引以外の部分については、主として先進国の国債に投資を行います。
運用方針	<p>アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハーの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。</p> <p>当戦略では、各資産それぞれの価格変動がポートフォリオ全体のパフォーマンスに与える影響度がおおむね均等となるように分散投資を行います。</p>
投資顧問会社	アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー※
信託期限	無期限
設定日	2013年4月22日
会計年度	毎年12月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。

※アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー（所在地：独ハンブルグ）は、オルタナティブ投資に特化したドイツの独立系運用会社です。同社では、2004年よりリスク・パリティ戦略を用いたファンドの運用を行っています。

アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）

損益計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2013年12月31日～2014年12月30日)

(日本円で表示)

投資収益		
受取利息	¥	1,688,781
投資収益合計		<u>1,688,781</u>
費用		
運用受託報酬		31,872,918
保管費用		19,838,887
専門家報酬		9,338,798
会計処理および管理手数料		4,872,354
受託者報酬		3,036,182
登録手数料		593,005
名義書換事務代行手数料		493,790
その他費用		24,323
費用合計		<u>70,070,257</u>
投資純利益		<u>(68,381,476)</u>
実現および未実現損益：		
実現損益：		
投資有価証券		94,480,609
先物取引		354,486,269
スワップ取引		29,241,180
外国為替取引および外国為替予約取引		(3,934,708)
実現純損益		<u>474,273,350</u>
未実現評価損益の純変動：		
投資有価証券		(170,894,554)
スワップ取引		6,686,844
先物取引		154,597,888
外国為替取引および外国為替予約取引		(3,773,864)
未実現評価損益の純変動		<u>(13,383,686)</u>
実現および未実現損益（純額）		<u>460,889,664</u>
営業活動による純資産の増減（純額）	¥	<u>392,508,188</u>

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 投資明細表

(2014年12月30日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	FIXED INCOME SECURITIES (71.3%)		
	GERMANY (71.3%)		
	GOVERNMENT BONDS (71.3%)		
	Bundesobligation		
EUR 5,500,000	1.75% due 10/09/15		¥ 810,411,193
EUR 2,250,000	2.25% due 04/10/15		328,942,704
	Bundesrepublik Deutschland		
EUR 1,000,000	3.75% due 01/04/15		145,294,479
	TOTAL GOVERNMENT BONDS		<u>1,284,648,376</u>
	TOTAL GERMANY (Cost ¥1,178,081,751)		<u>1,284,648,376</u>
	TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥1,178,081,751)		<u>1,284,648,376</u>
	SHORT-TERM INVESTMENTS (1.9%)		
	GRAND CAYMAN (1.9%)		
	TIME DEPOSITS (1.9%)		
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.		
JPY 15,738,657	0.01% due 01/05/15		15,738,657
	Wells Fargo & Co.		
USD 20,199	0.03% due 12/31/14		2,414,181
EUR 107,920	(0.17)% due 12/31/14		15,680,116
	TOTAL TIME DEPOSITS		<u>33,832,954</u>
	TOTAL GRAND CAYMAN (Cost ¥34,060,523)		<u>33,832,954</u>
	TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost ¥34,060,523)		<u>33,832,954</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥1,212,142,274)	73.2%	¥ 1,318,481,330
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	26.8	482,482,455
	NET ASSETS	100.0%	¥ 1,800,963,785

先物取引

Cash in the amount of ¥121,701,734 has been pledged as collateral for the following futures contracts as of December 30, 2014.

(2014年12月30日現在)

ポジション	銘柄	限月	契約		未実現 評価損益
Long	3-Month Euro Euribor Future	12/2016	4	¥	78,096
Long	90-day Eurodollar Future	12/2016	37		(2,777,346)
Long	90-Day Sterling Future	12/2016	43		1,141,190
Long	Canada Government 10-year Bond Future	03/2015	16		3,336,447
Long	E-mini S&P 500 Future	03/2015	2		836,042
Short	EUR/JPY Future	03/2015	(71)		19,036,875
Long	Euro-Bund Future	03/2015	10		3,643,986
Long	The Euro STOXX 50 Future	03/2015	8		629,125
Long	US 10 Year Note Future	03/2015	15		937,484
					¥ 26,861,899

ファンドレベルでの為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現 評価損益 (純額)
EUR	Brown Brothers Harriman & Co.	6,237	01/13/2015	JPY	906,735	¥ -	¥ (445)	(445)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	8,100	01/09/2015	JPY	968,452	-	(363)	(363)
						¥ -	¥ (808)	(808)

トータル・リターン・スワップ取引

Cash in the amount of ¥221,236,853 has been pledged as collateral for the following open swap contracts as of December 30, 2014.

(2014年12月30日現在)

想定元本	支払/受取	参照指標	取引相手	通貨	終了日	時価	プレミアム 支払(受取)	未実現 評価損益
2,457,213	Pay 0.49%	UBS Bloomberg CMCI Composite USD Excess Return Index	UBS	USD	6/29/2015	¥ (2,240,521)	¥ -	(2,240,521)
4,387,185	Pay 0.12% Pay USD-	UBS G10 Rolling Duration Index	UBS	EUR	4/23/2015	-	-	-
2,477,278	LIBOR-BBA plus 0.35%	MSCI World Risk Weighted Net TR Index	UBS	USD	6/19/2014	(835,493)	-	(835,493)
						¥ (3,076,014)	¥ -	(3,076,014)

デリバティブ商品の額

The following table is a summary of the Fund's derivative positions inclusive of potential netting arrangements.

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	差入担保金*	受取担保金*	純額**
店頭デリバティブ						
為替予約取引	Brown Brothers Harriman & Co.	¥ -	¥ (808)	¥ -	¥ -	¥ (808)
スワップ取引	UBS	-	(3,076,014)	3,076,014	-	-
中央清算されるデリバティブ						
先物取引		29,639,245	(2,777,346)	2,777,346	(29,639,245)	-
デリバティブ合計		¥ 29,639,245	¥ (5,854,168)	¥ 5,853,360	¥ (29,639,245)	¥ (808)

*Actual collateral pledged/ (received) may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/ (payable) that would be due from/ (to) the counterparty in an event of default. Netting may be allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

EUR	-	Euro
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第13期》決算日2016年1月14日

[計算期間：2015年7月15日～2016年1月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月14日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2014年1月14日)	10,042		0.0	90.4	—	1,437
10期(2014年7月14日)	10,045		0.0	93.4	—	1,284
11期(2015年1月14日)	10,047		0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049		0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049		0.0	70.3	—	852

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		期騰	落率			
(期首) 2015年7月14日	円 10,049		% —	% 85.2	% —	% —
7月末	10,049		0.0	81.4	—	—
8月末	10,049		0.0	73.7	—	—
9月末	10,049		0.0	60.9	—	—
10月末	10,049		0.0	55.9	—	—
11月末	10,049		0.0	76.4	—	—
12月末	10,049		0.0	76.4	—	—
(期末) 2016年1月14日	10,049		0.0	70.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

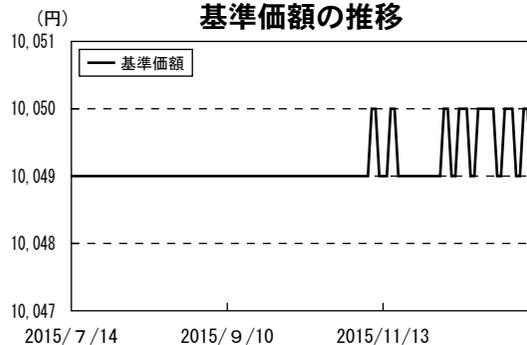
当期中の基準価額等の推移について

(第13期：2015/7/15～2016/1/14)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



基準価額の主な変動要因

上昇要因	残存期間が1年以内の国債、国庫短期証券を中心に投資を行い、利子等収益が積みあがったことが、基準価額のプラスに寄与しました。
下落要因	期末にかけての金利上昇により、保有債券の評価額が下落したことが、基準価額のマイナスに作用しました。

投資環境について

(第13期：2015/7/15～2016/1/14)

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0.1%を下回る水準で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。その結果、利子等収益は積みあがったものの、期末にかけて金利が上昇したことにより保有債券の評価額が下落したことなどの影響から、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマーク等を設けておりません。そのため、記載すべき事項はありません。

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・中国経済の減速などから原油価格が大幅に下落した結果、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、今後も金融緩和政策が継続されると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引およびコール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2015年7月15日～2016年1月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2015年7月15日～2016年1月14日)

公社債

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	19,053,657	18,253,598 (900,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年7月15日～2016年1月14日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
公社債	百万円 99	% 6.6		百万円 -	% -	

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年1月14日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	596,500 (200,000)	599,097 (200,000)	70.3 (23.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	70.3 (23.5)
合 計	596,500 (200,000)	599,097 (200,000)	70.3 (23.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	70.3 (23.5)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの格付けのうち高いものを採用しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第566回国庫短期証券	—	200,000	200,000	2016/2/1
第98回利付国債(5年)	0.3	100,000	100,143	2016/6/20
第277回利付国債(10年)	1.6	67,900	68,088	2016/3/20
第279回利付国債(10年)	2.0	28,600	28,698	2016/3/20
第280回利付国債(10年)	1.9	50,000	50,408	2016/6/20
第282回利付国債(10年)	1.7	150,000	151,759	2016/9/20
合 計		596,500	599,097	

○投資信託財産の構成

(2016年1月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	599,097	69.3
コール・ローン等、その他	265,754	30.7
投資信託財産総額	864,851	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	864,851,365
コール・ローン等	264,330,720
公社債(評価額)	599,097,253
未収利息	923,848
前払費用	499,544
(B) 負債	12,845,587
未払解約金	12,845,587
(C) 純資産総額(A-B)	852,005,778
元本	847,818,437
次期繰越損益金	4,187,341
(D) 受益権総口数	847,818,437口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,049円

<注記事項>

- ①期首元本額 817,500,936円
 期中追加設定元本額 1,688,467,883円
 期中一部解約元本額 1,658,150,382円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0049円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円

○損益の状況 (2015年7月15日～2016年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,166,843
受取利息	1,166,843
(B) 有価証券売買損益	△1,108,066
売買益	594
売買損	△1,108,660
(C) 当期損益金(A+B)	58,777
(D) 前期繰越損益金	3,991,676
(E) 追加信託差損益金	8,294,094
(F) 解約差損益金	△8,157,206
(G) 計(C+D+E+F)	4,187,341
次期繰越損益金(G)	4,187,341

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

新興国公社債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンド (年2回決算型)	15,830,391円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドII (年2回決算型)	6,986,485円
日本株 2.5ブルベア・オープンII (マナー・プール・ファンドVIII)	514,333,828円
マナー・プール・ファンドIV	977,929円
マナー・プール・ファンドVI	103,149,659円
マナー・プール・ファンドVII (適格機関投資家専用)	976,581円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	137,774,158円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド (毎月決算型)	999円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)	997円
リスク・パリティαオープン	995円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジあり	9,963円
欧州ハイ・イールド債券ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	39,849円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	99,592円

国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	15,412,317円
国際・キャピタル	日本株式オープン (通貨選択型)	マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	3,319,231円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)			4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)			4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジありコース (年2回決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン (為替ヘッジなしコース (年2回決算型)			9,957円
優先証券プラス・オープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替プレミアムコース (年2回決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジありコース (年2回決算型)			9,956円
優先証券プラス・オープン (為替ヘッジなしコース (年2回決算型)			9,956円
米国成長株オープン			996円
世界CoCosオープン (為替プレミアムコース (毎月決算型)			9,953円
世界CoCosオープン (為替ヘッジありコース (毎月決算型)			9,953円
世界CoCosオープン (為替ヘッジなしコース (毎月決算型)			9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型			9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型			9,952円
合計			847,818,437円